

ただいま、ご紹介にあずかりました赤池まさあきです。

本日は、自由民主党甲府市支部の総会に当たり、市内全域から大勢の方々にご参集を賜り、盛会に開催されますことを、心よりお慶び申し上げます。

皆川支部長、柳澤幹事長、堀口事務局長の新三役を中心に、土屋県議、依田市議、森沢市議をはじめとした甲府市議団、民間から長年自民党を支援し、応援下さった方々、県連の前島代表代行等、関係各位のご尽力によって、自民党甲府市支部が今ここに一丸となったことに、ただただ心から敬意を表するものです。

本来であれば、一区支部長たる私が率先して動かなければならないところでした。しかしながら、昨年の地方選以降、私の不行届きなところもあり、皆様のご理解をしっかりと得るまでには至らず、一区支部長としての務めを全うすることができませんでした。その間、不安な思いをされた方も、異論・反論をもたれた方も、歯痒い思いをされた方も、中には不愉快な思いをされた方もいらっしゃったと思います。私の至らぬ点につきましては、私自身、骨身にしみております。

一見、飄々としているようにお感じになられる方もいらっしゃるかもしれませんが、私は私なりに本当に悩み、本当に考え、本当に多くの方々にアドバイスを頂いて、少しでも前へ進むべく足掻いてまいりました。まだまだ政治家としてはまだまだ未熟です。私自身、自分の至らぬ点は猛省しております。何卒ご理解を賜りたいと存じます。

皆様のお力で当選させていただき、約 3 年強の間、課題山積の政治状況を目の当たりにしてきて、ここで足を止めるわけにはいかないのです。なんとしても停滞しきった現状を打破せねばならない。この思いだけは何一つ変わっておりませんし、むしろ強くなるいっぽうです。私自身の課題も含め、課題という課題には、とにかく粉骨砕身の覚悟で体当たりしていきます。どうか今しばらく、一生懸命足掻くことを見守って頂ければと思います。もちろん、至らぬところはどんどん ご指導賜ればと思っております。

日本、そして山梨は、今大変な危機にあります。世界的な経済恐慌によって、百年に一度といわれる不況の真っ只中にありますが、もっと深刻なのは、経済だけでなく、自殺やいじめ、殺人事件などの心の不況、心の荒廃です。

それを克服するためには、日本や山梨の歴史伝統文化に誇りを持ち、先人たちを敬う気持ちが大事であり、子孫たちにこのすばらしい国や郷土を伝えていくことだと思っております。それを実現するためにできた政党が、私たち責任政党「自民党」ではないのでしょうか。

来年には必ずある解散総選挙は、自民党か野党かのまさに天下分け目の戦いです。それはそのまま、日本と山梨の浮沈がかかっているといっても過言ではありません。

私は、本当にまだまだ微力ですが、来るべく決戦に向けて、なにがなんでも全身全霊で戦います。山梨一区の未来、日本の将来を賭けて戦います。本日すばらしい自民党甲府市支部の場ができました。今、一番苦しいときだからこそ、自民党が「一致団結」すべきときだと思っております。私自身、自分の至らぬ点は猛省します。そして、今後、率先して頑張ることをここにお誓い申し上げます。どうか一致団結し、この山梨一区の、自民党の、そして日本の将来のために、皆様のお力をお貸しいただくよう、心からお願い申し上げます。

本日は本当にありがとうございました。